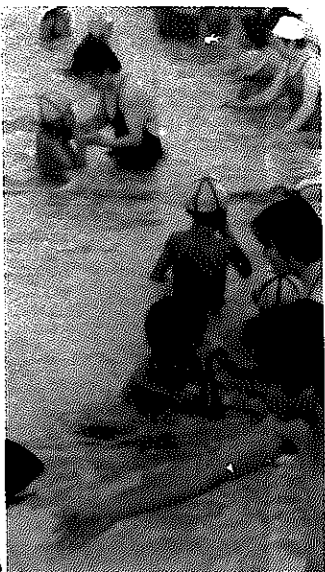


# まちのわだい

## ぼく泳げるようになったよ かなづち返上、親子水泳教室

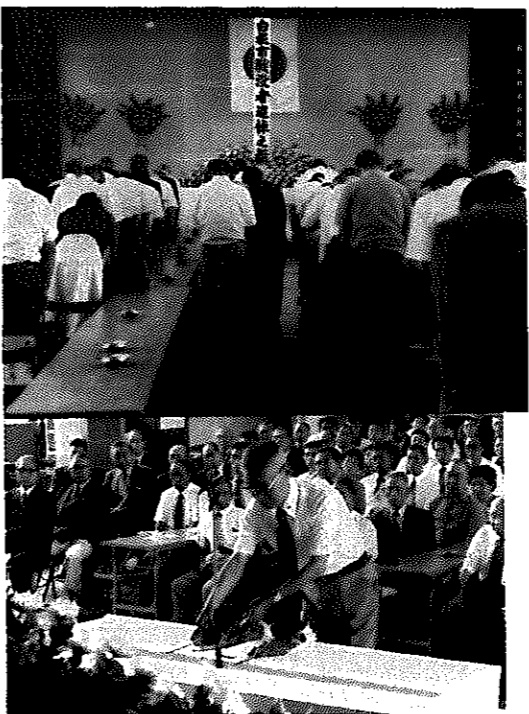
八月四日から十一日まで、白根高校プールで親子水泳教室が開かれました。集まった親子は五十三組。真夏の夕日を見ながら、元気に水しぶきをあげていました。はじめは全然泳げなかった子供たちも、最終日近くには泳げるまでの上達しました。

「親子水泳教室に参加させてもらい、私も子供も二十五分泳げるようになりました。私なんか、はじめは水に顔をつけることさえできなかったんですよ」と、喜びいっぱいのお母さんも。



## めい福を祈って 市戦没者追悼式

終戦記念日の八月十五日、産業厚生会館で市戦没者追悼式が行われました。戦没者遺族をはじめ、参列した百六十人は、正午に一分間の黙とうをささげ、戦没者のめい福を祈りました。吉沢市長が「千八百八十四の市戦没者諸霊のごめい福をお祈りするとともに、ご遺族のご多幸を念じます」と追悼のこたばを述べたあと、地区代表による献花などが行われました。

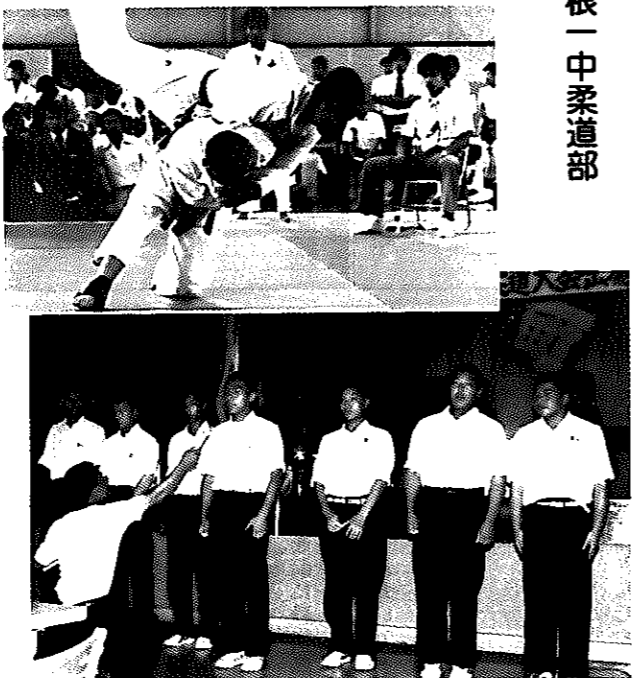


## 県大会でV4を達成—白根一中柔道部

七月二十七・二十八日、村上市で開かれた県中学校総合体育大会で、白根第一中学校柔道部が圧倒的な強さで優勝、県下初の四年連続制覇の偉業を成し遂げました。

「体格は他校に比べ大きくありません。みんな小学生のころから柔道教室などで、基本をしっかり身につけていたことが良かったのでしよう」と、指導にあたる大倉作三郎先生は話しています。

八月二十三日、群馬県の渋川市で開催された第十三回全国中学校柔道大会に県代表（通算九回目）として出場。惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでしたが。



# 市民文芸

## 短歌

手術後の眠れぬ夜半の枕辺に

小さき羽虫の飛ぶを目で追う 小林キミイ

## 俳句

あの世からこの世から盆賑わいり 石田 豊一  
村雨の山にあつまり虹を産み 針貝 静男  
夕立雲青れに大きく迫り来る 中山 義英  
風鈴の鳴らない程の暑さかな 石田 豊夫  
風鈴を賣場に吊りし浜の宿 坪川 桐太郎  
金魚屋の出したる網で金魚追ふ 田中 昭一

## 川柳

風鈴の短冊振りて孫あやす 眞保 清三  
盆踊りする子に母は布団干す 佐野 竹子  
風鈴の尾の匂ながめてつくりけり 佐藤 勇一郎  
大菜儲さげて墓参の火をしめす 須戸 義夫  
指名手配の男一本指が欠け 長井 徳市  
乾杯の利き手上がらぬ五十肩 花岡 増男  
ガス栓をローンに負けた手が開く 高橋 祐四男  
人形に心を開く白閉症 後藤 まさの  
千年の年輪みせず開く連 大井 義雄  
村芝居主役は隣のお父さん 岡村 清  
極楽で合う約束の野辺送り 今井 七郎  
指折りて旅の妻待つ老いの酒 西條 ムラ  
天皇がロボットだった日の悪夢 吉川 彰  
逆境の主役に代る母の独楽 山岡 フミ  
雨乞いを東ですれば西で降り 中村 尚治

# 市民談話室

## 地域生活センターに思う

### 地域に果たす大きな役割

宮嶋春江さん（養瀬新田・主婦・45歳）

保健会事業の一つとして、各部落から一、二名の参加者を得て、毎月第三土曜日の午前九時三十分から十一時まで、庄瀬地域生活センターの調理室で調理講習会を開いています。

毎回、市の栄養士を講師に迎え、「季節の野菜を使って」のテーマで、調理のし方を教えていただいています。また、私たちの健康を考え、病気を予防する数々の事も学んでいます。

食事は量より内容、自分の体に合った物を取るようになりたいものです。最近、朝食を取らずに出かける人が多いと聞きます。でも、朝食は必ずとるようにしたいですね。主婦の手作り料理で、家庭の味と家族の健康を守りたいものです。各地区でも、地域生活センターを利用して、随時「調理講習会」が開かれています。主婦のみならず、一度参加してみたいかがでしょうか。

## 学んで感じた事

### 学ぶ特権を利用しどん欲に学習

阿部房子さん（東萱場・農業・50歳）

不安の入り混じった気持ちで引き継ぎした婦人会の役員。早いもので、もう三か月半が過ぎました。私たちの部落では、役を引き受けた人は農協婦人会、保健会の役員

も一緒に受ける習わしなので、なかなか大変です。いろいろ勉強したり、講演を聞いたり……。そんな中で「役に当たった人は、学ぶ特権を与えられたのだからがんば

ってください」と、励ましの言葉をもらいました。

に頼っているのです。

農協の研修会では、減反などで農家所得の伸び悩みもあり、我が家を振り返っても考える事が多くあります。まず出費です。例えば、五、六年前までは伝統的に手作りの味噌を食べていました。でも、このごろは、つい作るのが面倒になったり、食生活の変化と共に味噌漬けも食べなくなり、市販の味噌

今、転作田ですくすく育っている大豆をながめながら、来年こそは減塩のおいしい味噌を作ろうと夢をふくらませています。

また、保健会でも病気になるための健康管理。運動、休養、栄養と今さらながら深く考えさせられました。役員は気が重いのですが、学ぶ特権を利用してがんばっていきたいと思うこのごろです。

## 土に親しむ楽しみ

### 転作田を利用し市民農園の設置を望む

池田健吉さん（旭町・公務員・55歳）

最近、サラリーマン世帯を中心に、自給野菜栽培の風景が新興住宅地で見られます。これは、全国的な傾向とも言われています。

作物を作る喜び、収穫の喜びは何とも言えません。私もわずかな場所ですが、季節の作りを楽しんでいます。時々、子供も連れ出して一緒に汗を流しています。

町部には、土地さえあればやってみたい世帯もあるかと思われま

す。五坪もあれば十分です。町部に近い転作田を共同でお借りして利用料を財源とした「市民農園」の設置、誘導はかががでしょう。県下でも、都市部を中心に増加しているようです。小規模ですが、野菜の需要に影響するようないことは、先進地での事例では見られないようです。ともあれ、みなさん土に親しみましょう。

投稿ください。市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄ってください。採用文には謝を差し上げます。ページの都合で、文を短くすることがあります。おて先は、大字白根二三五 白根市役所企画財政課広報係です。